

# 競技注意事項

## 1. 規則について

本大会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。また、競技者は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」を適用し、違反する場合は注意を行う。

## 2. 競技場使用上の注意

- 1). 競技場は全天候舗装である。なお、スパイクピンは11本以内で長さは9mm以下とする。ただし、走高跳およびやり投の場合は12mm以下とする。
- 2). 観戦はスタンドで行い、大会本部付近や競技場内には立ち入らないこと。また、声を発する応援は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から行わないこと。詳細は別紙【観戦可能区域図】を参照すること。
- 3). カメラやビデオ等を用いた撮影許可を得ていない者の撮影行為は禁止とする。学生については原則として所属する大学のジャージを着用して撮影すること。学生以外で撮影を希望する場合は大会本部へ申し出を行い、撮影許可証を着用し撮影すること。
- 4). 競技会において競技者は、携帯電話やスマートフォン等の通信機器もしくはこれらに類似する機器を競技場エリア内で使用してはいけない。(競技規則144条)

## 3. アスリートビブスについて

- 1). アスリートビブスは学連登録時に配布しているもの2枚を胸部と背部に確実につけること。ただし、跳躍種目の場合は胸部か背部のどちらか一方でもよい。
- 2). 男女10000mWのアスリートビブスは主催者側が用意したものをを使用すること。ただし、招集時はプログラム記載のものを提示すること。
- 3). トラック競技の場合は腰ナンバーカードをつける。腰ナンバーカードは招集所で受け取り、レース終了後は自身で持ち帰り、処分をすること。

## 4. 各種書類について

大会当日の各種書類の配付及び提出の窓口については、下表の通りとする。

書類名	配布場所	提出先・依頼先
棄権届	招集所	招集所
リレーオーダー用紙		
重複届		
記録証明書	総合受付（1F 正面玄関前）	総合受付（1F 正面玄関前）

## 5. 招集について

- 1). 競技者招集所は、メインスタンド北側器具庫前(100mスタート側)に設ける。
- 2). 招集時間は、別紙のタイムテーブルの通りとする。代理人による最終点呼は認めない。
- 3). 招集時間が他の種目と重なる場合、事前に主催者側が用意の重複届を競技者係に提出すること。重複届を提出した場合でも、必ず本人または代理人が第1次招集を受けなくてはならない。その際、重複届の控えを持参すること。
- 4). リレーオーダー用紙は主催者が用意したものに限る。オーダー用紙は招集所で配布する。リレー種目に出場するチームは、オーダー用紙を当該種目の招集開始60分前までに招集所（競技者係）に提出すること。次ラウンド進出時は、オーダーの変更の有無にかかわらずその都度オーダー用紙に記入して提出すること。(メンバーについては競技規則第170条を参考のこと)。
- 5). 混成競技は各日、最初の種目の30分前に招集を行い、以後の招集は行わない。
- 6). 招集完了時間に遅れた場合、当該種目を棄権したものとして処理するので十分注意すること。

## 6. 大会当日の棄権について

- 1). 大会当日、やむなく棄権する場合は棄権届（招集所に用意）に必要事項を記入し、競技者係に提出すること。代表者会議で棄権を申し出た場合は、改めて提出する必要はない。
- 2). 棄権届を提出せずに棄権した場合は、本大会での他種目への出場を認めない。

## 7. 用器具について

- 1). 競技に使用する用器具は原則、主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポール及び投てき物は、個人所有のものを使用することができる。
- 2). 個人所有の投てき物の使用を希望する場合には、検査を受け許可されたもののみ使用を認める。
- 3). 投てき物の検査は、競技開始60分前から招集開始時刻まで行う。なお、検査後の投てき物は、一時的に競技場備品として扱い、他の競技者との共用とする。破損に関しては、主催者側は何ら責任を負わない。また、返却は競技終了後に返却場所にて行う。検査及び返却場所については下表の通りとする。

用具	検査及び返却場所
砲丸・円盤・やり・ハンマー	岐阜メモリアルセンター長良川競技場 南倉庫内（100mフィニッシュ側）

## 8. 競技について

- 1). トラック競技の時計は、電気計時（1/100秒）を用いて行う。
- 2). 以下の種目については、スタート後一定時間を経過して残り1周に達していない場合、または競技日程に支障が出ると審判長が判断した場合、審判長の指示により競技を中止させることがある。  
 男子5000m（OPも含む）…スタート後18分、女子5000m…スタート後22分  
 男子10000m…スタート後35分、女子10000m…スタート後45分  
 男子10000mW…スタート後50分、女子10000mW…スタート後55分  
 ※ただし、各競技8位入賞者がゴールするまでは、制限時間を超過しても競技を続行することができる。
- 3). 跳躍競技（高さで順位を決定する競技）のバーの上げ方は原則として下表の通りとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
男子走高跳 Aピット	1m98/2m07	1m98	2m01	2m04	2m07	2m10	2m12	2m14	2m16	以降2cm
男子走高跳 Bピット	1m74/1m83	1m74	1m77	1m80	1m83	1m86	1m89	1m92	1m95	以降Aピットと同じ
女子走高跳	1m40/1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	1m67	以後3cm
男子棒高跳	3m80/4m30/4m80	3m80	4m00	4m20	4m40	4m60	4m70	4m80	4m90	以後10cm
女子棒高跳	2m30/3m20/3m40	2m30	2m60	2m90	3m10	3m30	3m45	3m60	3m70	以後10cm

- ※ 第1位決定試技の際のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
- ※ 第1位が決まった後にバーを上げる場合、当事者は該当審判員または審判長に希望の高さを申し出てから高さを決定する。
- ※ 天候等に応じて審判長の判断で開始の高さ、バーの上げ方を変更する場合がある。
- ※ 十種競技・七種競技のバーの上げ方については競技運営、天候などを考慮した上で該当審判員または審判長の判断により決定する。

### 4). 三段跳の踏切位置について

三段跳の踏切位置は男子12m、女子10mとする。  
 三段跳の踏切位置は該当審判員または審判長の判断で変更する場合がある。

### 5). 走高跳・走幅跳・三段跳のピットについて

スタンドに近い側のピットをAピットとし、もう一方をBピットとする。

#### 6). 給水について

5000m、10000mおよび10000mWの給水については天候に応じて水をバックストレート側に設置する。給水後のコップは他の競技者の妨害になるような捨て方は厳禁とする。

#### 7). 本大会のトラック競技において各レースで1回でも不正スタートをした競技者を失格とし、混成競技においては2回目以降に不正スタートをした競技者をすべて失格とする。

### 9. 表彰および対校得点について

- 1). 表彰は1位から3位までの入賞者について行うが、表彰式は実施しない。
- 2). 該当者は成績発表後45分後を目安に、1F正面玄関前の「賞状受け渡し所」で賞状及び盾（優勝者のみ）受け取ること。
- 3). 賞状の受け取りの際、広報用の写真または動画を撮影することがある。
- 4). 対校得点は1位…8点、2位…7点、3位…6点、4位…5点、5位…4点、6位…3点、7位…2点、8位…1点とする。出場者が7名以下の場合も、1位から8点とする。
- 5). 対校得点が同点の場合は優勝種目数の多い方を上位とする。（優勝種目数が同数であれば、第2位入賞種目数の多い方を上位とする。以下同様。第8位入賞種目数まで同じ場合は同順位とする。）
- 6). 総合の男女各部門において、対校得点が最上位であった大学にはトロフィーを授与する。
- 7). 新型コロナウイルスの影響により、大学及び選手の出場数が著しく減少した場合には、対校得点を計算しない場合がある。

### 10. 抗議と上訴について

競技結果の正式発表時間は、大型スクリーンに結果が発表された時間を基準とする。

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、結果が正式発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目は15分以内）に、その競技者あるいはチームの代表者により担当総務員を通じて口頭で審判長に申し出なければならない。審判長の裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は、上訴申立書と預託金10,000円を添え、担当総務員を通して Jury に上訴することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。この間の事務的処理は担当総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

### 11. コーチングエリアについて

フィールド種目（単一種目、混成競技問わない）において、コーチングエリアを設置する。コーチングエリアは全て、スタンド下段に設ける。選手に声を掛けるとき以外はコーチングエリアに立ち入らないこと。設置場所については以下の通りである。

- 1). 走幅跳・三段跳 正面スタンド
- 2). 走 高 跳 第3、第4コーナー間
- 3). 棒 高 跳 バックストレート
- 4). 投 擲 種 目 第2コーナー付近

### 12. その他

- 1). 本大会では、岐阜陸上競技協会医事部が医務室にて応急処置を行う。出場者ならば誰でも利用できる。
- 2). 参加校のトレーナー活動は、スタンド内で行わないこと。
- 3). 競技中の選手に対する助言は競技規則第144条2項に準ずる。またフィールド競技に関しては該当審判員が許可を与えた上でコーチにアドバイスを聞きに行くことができる。審判員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は主催者側で協議し対処する。

(競技規則第144条4項参照)